LABSTATION. 構成サポート

Lt LabStation アプリケーションインストールを維持するための技術的な情報

Lt LabStation は使いやすい機能とコンテンツを備えたソフトウェアアプリケーションです。最新のテクノロジーを用いて、データ取得ハードウェアを使用するライフサイエンス実習を教える教育者を支援します。

- 教官は Lt LabStation を使用して Lt LabStation レッスンを作成/編集します。
- 学生は Lt LabStation デスクトップアプリケーションを使用してレッスンを実施します。

Lt LabStation アプリケーションのインストール

Lt LabStation インストーラはここで入手できます：https://www.adinstruments.com/support/downloads/windows/lt-labstation

.msi ファイルを管理者アカウントで実行することでアプリケーションをインストールできます。

Lt LabStation は MSI をサポートする自動化ツールでインストールできます。

サイレントインストールを使用可能にするには、[quiet] モードを使用してください。EULA を受け入れるには、[ACCEPT_EULA] プロパティを [yes] に設定して EULA に同意します。さらに、[LICENCE] プロパティにライセンスコードを入力する必要があります。例えば、コマンドプロンプト（Admin）から下記のコマンドを実行して Lt LabStation をインストールします：

```
msiexec /q /i "Lt LabStation.msi" ACCEPT_EULA=yes LICENCE="XXXX-XXXX-XXXX-XX"
```

重要：EULA の内容を確認してから [ACCEPT_EULA] を [yes] に設定してください。

ディレクトリとファイル

32 ビット Windows のインストール	%ProgramFiles%\ADInstruments\Lt LabStation
64 ビット Windows のインストール	%ProgramFiles(x86)%\ADInstruments\Lt LabStation
ログ	%ProgramData%\ADInstruments\Lt LabStation
一時ファイル	%AppData%\Local\labstation\temp

サポートされる構成

Lt LabStation はこれらのプラットフォームでのインストールがサポートサポートされています：

OS バージョン	Windows 7 SP1 以降
ハードウェア要件	2GB RAM 以上、4GB を推奨
	最新の Intel または AMD デスクトップ CPU、2 コア以上
	5GB の空きハードディスク領域
	空き USB ポート（バージョン 2 以降）
	編集するにはブロードバンドインターネット接続とインターネットブラウザが必要です

編集は Mac および Windows 上で利用可能で、オンライン Lt LabStation サービスで実施できます。
詳細についてはこちらを参照してください：https://support.kuracloud.com/help/device-and-browser-support

.lesson ファイルを共有する

既存のファイル共有システムを使用して実習用コンピュータで .lesson ファイルを共有できます。共有ネットワークドライブを使用することをお勧めします。ドライブに保存された .lessons は、ネットワーク上の任意のコンピュータから直接アクセスできます。実習で使用している Lt LabStation で各 .lesson ファイルをテストすることを推奨します。

Lt LabStation を更新する

自動的に更新する（推奨）

Lt LabStation アプリは ADInstruments Updater Service で自動的に更新されます。以下のタイミングで更新がインターネットでチェックされます：

- Lt LabStation がインストールされているコンピュータにユーザーがログインしたとき
- 毎夜深夜 0 時（現地時間）

Lt LabStation アプリケーションへの更新は LocalSystem 特権を使って自動的にインストールされます。これによって、管理者アカウントでログインしていなくても更新をインストールできます。

Forced System Restore（Deep Freeze など）を使用するシステムは Lt LabStation ではサポートされません。ただし、システムが使用中の場合には、深夜 0 時前に解凍されると更新をインストールできます。

手動ローカル更新（非推奨）

ADInstruments Updater により、updates.adinstruments.com から直接ではなく、ネットワーク上のフォルダから Lt LabStation を更新するように構成できます。

手動更新を構成するには：

- スタートメニューから [ADInstruments Updater] を実行します。
- [Advanced Settings（高度な設定）] を選択します。
- [Install updates from my computer or network（自分のコンピュータやネットワークからのアップデートをインストールします）] にチェックマークを付けます。
- 更新が保存されるコンピュータまたはネットワーク上のフォルダを指定します。
- ダウンロードパッケージを指定したフォルダに解凍します。

最新のローカル更新パッケージはここからダウンロードできます：
https://www.adinstruments.com/support/downloads/windows/lt-labstation

ADInstruments Updater が指定されたフォルダで新しいバージョンの Lt LabStation を上記の時間にチェックします。

自動更新を無効にする（非推奨）

重要：編集は Lt LabStation サービスを介して実施されるので、アプリケーションへの更新を無効にすると、新しくエクスポートされたレッスンが Lt LabStation デスクトップアプリケーションとの互換性を失う可能性があります。このため、自動更新を無効にすることは推奨していません。

実習セットアップによって自動更新をオフにすることを要求された場合：

- スタートメニューから [ADInstruments Updater] を実行します。
- 表示されたオプションから [ADInstruments Lt Labstation] のチェックマークを外します。
- [OK] を選択します。

Lt LabStation の自動更新を無効にした場合は、新しくエクスポートした .lesson ファイルのうち、使用したいものを実習コンピュータで開いてから、実習を開始することをお勧めします。

注意：最新バージョンの Lt LabStation のみ、ADInstruments テクニカルサポートでサポートされます。

更新用の送信ネットワーク通信

双方向通信、クライアントコンピュータで開始されたもの：

サービス	ソース	ソースポート	プロトコル	宛先	宛先ポート
ADInstruments Updater	ホスト IP	49152-65535	TCP	updates.adinstruments.com	443

宛先 URL は時間とともに変化する複数の IP アドレスに解決されます。

サポートされない構成：仮想マシンとシンクライアントワークステーション

Lt LabStation は仮想環境で使用できる場合もありますが、シンクライアントではサポートされません。以下の点に注意してください：

- PowerLab からのサンプリングには USB 接続が必要ですが、仮想またはシンクライアント環境では問題が発生する可能性が高いです。
- これらの環境では Lt LabStation のパフォーマンスが低下する場合があり、ユーザエクスペリメンスに影響する場合があります。

! Lt LabStation を仮想環境またはシンクライアント環境で使用する前に、十分なテストをすることを推奨します。公式にはサポートしていないため、十分なエクスペリエンスは保証できません。

Lt LabStation は上記の構成をサポートしていませんが、可能な場合にはアドバイスを提供いたします。